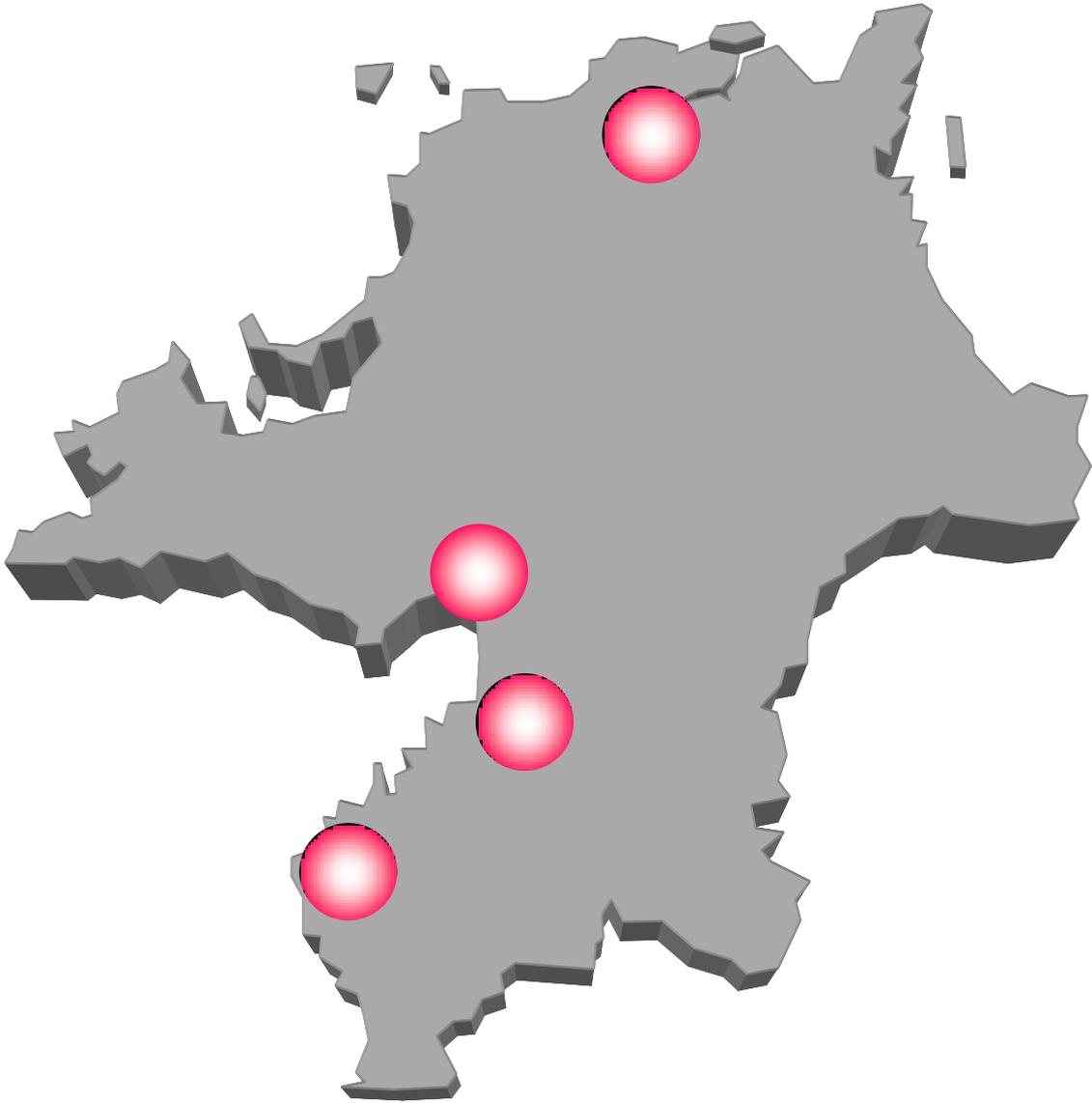


令和2年度

業務報告



福岡県工業技術センター

はじめに

長期化するコロナ禍により、経済は深刻な打撃を受けるとともに、社会そのものも大きく変わろうとしています。そして、地域の経済を支える中小企業を取り巻く環境は、先の見えない厳しい状況が続いています。

このような中、県内ものづくり企業がコロナ禍を生き延び、成長発展していくには、製品開発力や加工技術の向上、生産性の向上といった、ものづくりの基盤となる力の強化に加え、急激に変化する社会や市場への対応力を強化することも重要です。

福岡県工業技術センターでは、「研究開発」、「人材育成」、「技術相談」や研究会・講演会等の「情報収集・提供」、「技術交流」、「試験分析」、「コーディネート」を基本業務と定め、外部関係機関と緊密に連携・協力しながら中小企業のものづくり基盤力の向上とそこから生まれる、高付加価値製品の開発や事業の発展を総合的に支援しています。



さらには、新しい生活様式やデジタル化の進展などの社会環境の変化に対応する中小企業の取り組みに対しても支援を行っています。

本報告書は、福岡県工業技術センターの4つの研究所である、化学繊維研究所、生物食品研究所、インテリア研究所、機械電子研究所が令和2年度に実施した基本業務をまとめたものです。同時発行の研究報告書とあわせて参考にいただき、私どもセンターの積極的な活用につなげていただければ幸いです。

令和3年10月

福岡県工業技術センター 所長 櫻谷 洋一

目 次

第1章 概要

1-1	沿革	1
1-2	組織と業務	1
1-3	令和2年度の方針	2
1-4	職員構成	3
1-5	土地及び建物	3
1-6	支出決算額	3
1-7	工業所有権	4
1-7-1	令和2年度に登録された特許	4
1-7-2	令和2年度に公開された特許	4
1-7-3	令和2年度までの特許総数等	4
1-8	視察・見学等	5
1-9	研究課題評価委員会	6
1-10	受賞・表彰・学位取得	7
1-11	職員派遣研修	8

第2章 研究開発

2-1	研究開発テーマ	9
2-2	実用化事例	23

第3章 人材育成

3-1	基盤人材育成	25
3-2	研究開発人材育成	26
3-2-1	実施講座	26
3-2-2	受託研修	26
3-3	セミナー、講習会等	27
3-4	企業技術者以外の受け入れ	28

第4章 技術相談

4-1	技術相談	29
4-2	技術相談事例	33

第5章 情報収集・提供

5-1	刊行物	37
5-2	研究成果発表	37
5-2-1	主な誌上発表	37
5-2-2	主な口頭発表	39
5-2-3	主なポスター発表	40
5-3	マスメディア報道	41
5-4	会議・イベントの開催	43
5-4-1	研究成果発表会	43
5-5	展示会への出展	44
5-6	メールマガジン	44
5-7	ホームページ	44

第6章 技術交流

6-1	技術研究会	45
6-2	福岡県工業技術センタークラブ	46
6-2-1	先端技術シンポジウム	46
6-2-2	生産性向上研究会	46
6-2-3	ナノテク・材料技術部会の活動	46
6-2-4	バイオ技術部会の活動	47
6-2-5	デザイン部会の活動	47
6-2-6	機械・電子技術部会の活動	47
6-3	外部委員、審査員等	48
6-3-1	講師の派遣	48
6-3-2	外部委員	49
6-3-3	審査員等の派遣	51

第7章 試験分析

7-1	依頼試験	53
7-2	依頼加工	55
7-3	設備使用	56
7-4	主要設備	61
7-4-1	令和2年度購入備品	61
7-4-2	主要備品	64

第8章 コーディネート

8-1	研究開発コーディネート	83
8-2	提案申請支援	83
8-2-1	採択された事業提案申請支援	83
8-2-2	事業提案申請支援（地域別集計）	85

参考資料(職員名簿)

福岡県工業技術センター職員名簿	87
-----------------	----